学校番号	3001

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	自立数学Ⅰ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし（プリント教材使用）						
副教材等	なし（プリント教材使用）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・数学と人間とのかかわりや、社会生活において数学が果たしている役割について理解しましょう。
・学習の基本は授業です。常に真剣な気持ちで取り組みましょう。授業では、個々の能力に応じた教材について、内容を説明したあと練習問題を解きます。
・授業内容を理解しやすいように、毎時間授業プリントを用意しています。板書だけでなく、自分の考えや周りの人の考えも積極的に記録しましょう。
・学習のまとめプリントは定期考査ごとに提出してもらいます。提出期限は守りましょう。

2　学習の到達目標

基本的な式の計算・方程式・データの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b: 数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数学的活動を通して，基本的な式の計算・方程式・データの分析に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、計算法則や方程式・データの分析における数学的な見方や考え方を身に付けている。	基本的な式の計算・方程式・データの分析において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	基本的な式の計算・方程式・データの分析における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、知識を身に付けている。
評価方法	学習活動への取り組み 課題・提出物の状況 プリント 小テスト 観察等	小テスト 定期考査 プリント 観察等	小テスト 定期考査 プリント 観察等	小テスト 定期考査 プリント 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	式の計算	式の乗法と展開	○	○	○	○	a:文字式に関心をもち、文字式の四則計算に用いようとする。また単項式や多項式の乗法・因数分解、平方根の性質とその計算方法に関心をもち、自ら処理しようとする。 b: 単項式や多項式の乗法・因数分解の方法および、展開と因数分解の関係について考察することができる。 c: 単項式や多項式の乗法・因数分解を適切に行うことができる。また、平方根の計算について処理する能力を身に付けている。 d:単項式や多項式の乗法公式や因数分解の仕組みを理解している。また、平方根の仕組みや計算法則を理解できる。	小テスト 定期考査 プリント 観察等
		因数分解	○	○	○	○		
		平方根	○		○	○		
2学期	方程式	1次方程式	○		○	○	a:1次方程式や2次方程式の解法に興味を持ち、それらを日常生活や事象などに活用しようとする。 b:日常生活や様々な事象などを、1次方程式や2次方程式を用いて考察し、活用することができる。 c: 1次方程式や2次方程式の解法を理解し、問題を解決することができる。 d: 1次方程式や2次方程式の	小テスト 定期考査 プリント 観察等
		2次方程式	○		○	○		

		方程式とその応用	○	○			解法について理解できる。また、2次方程式のさまざまな解法（特に因数分解や解の公式）について、知識を身に付けられている。	
3学期	データの分析	四分位数と箱ひげ図	○	○	○		a:身近なテーマのデータについて、四分位数・箱ひげ図を用いて散らばり具合などをとらえようとする。 b:データの散らばり具合について考察・比較できる。また、相関関係からデータの傾向をとらえることができる。 c:目的に応じて資料を収集・整理し、それを表やグラフなどを用いて分析して、結果を数学的に表現することができる。 d:資料を分析するための表やグラフを理解し、データの傾向をとらえる意味などを理解している。	小テスト 定期考査 プリント 観察等
		データの相関		○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方

c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。